



羽村市立栄小学校  
学校だよりNO. 11  
令和8年1月8日



## α世代の子供たちのために

校長 梶 まゆみ

令和8年がスタートしました。今年は、丙午（ひのえうま）。「丙午の年はどんな年？」とAIにきいてみると、「火のエネルギーと馬の行動力が合わさり、情熱的で非常にパワフル、勢いのある年。停滞していたことが動き出したり、新しい挑戦に大きなチャンスが訪れたりする。

『飛躍』『本質が問われる』『変化への対応』がキーワード。光と影の両面があり、大胆な行動が吉とされますが、出生数が減るという迷信も有名です。」と出てきました。60年に一度の丙午年。子供たちにとって、飛躍できる一年になるよう、教育活動をすすめていきます。

1月1日、ある新聞の一面に「頂を創れ α 20億人の未来」という見出しを見付けました。α（アルファ）とは？と思い、詳しく読んでみると、Z世代の次世代の人たちを「α世代」（2010～24年ごろに生まれた人）と呼ぶそうです。テクノロジーの進化による大変革期を生き、50年後も社会の中核になっていく人たち。小学生の子供たちは、まさにこの「α世代」です。また、幼いうちからAIが普及しているので「AI ネーティブ」とも呼ばれるそうです。

「AIを使うのが当たりまえで、AIを超える発想がないと進んだことにはならない。」という記事もありました。子供たちがAIを使うメリットとデメリットを十分に理解し、AIを「道具」として、自分だけでなく社会がよりよくなるように使う。そのような行動ができることが求められています。学校の教育活動にも、「変化への対応」が求められていると強く感じた日でした。



本年も、子供たち一人一人がよさを発揮し、未来を切り拓くための力を身に付けられる学校を目指し教職員一同、尽力してまいります。ご家庭・地域の皆様には、ご理解とご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## Copilot（AI）に聞いてみました！

### AIの主なデメリット

- ① 判断のブラックボックス化
  - ・AIがどうしてその結論に至ったのか、人間に理解しにくいところがある。
  - ・特に深層学習モデルは「理由が説明しづらい」ため、責任の所在が曖昧になりやすい。
- ② 間違った情報を出す可能性
  - ・AIは誤ったり、偏ったりしたデータを学習すると、そのまま誤った判断をすることもある。
- ③ プライバシーやセキュリティの懸念
  - ・情報漏洩や不正利用のリスクがある。
  - ・個人データの扱い方が社会的な課題。
- ④ 人間のスキル低下の懸念
  - ・AIに頼りすぎると考える力や判断力が弱くなる可能性がある。

### AIの主なメリット

- ① 作業の自動化で効率アップ
  - ・単純作業や繰り返し作業を高速・正確にこなせる。
- ② 大量データの分析が得意
- ③ 24時間いつでも対応できる
- ④ クリエイティブ分野のサポート
  - ・「人間×AI」で新しい表現や作品が生まれる。
- ⑤ 医療や福祉の質向上
  - ・画像診断のサポートなど
- ⑥ 社会課題の解決に貢献
- ⑦ 学習や教育の個別最適化

